Compliance Handbook for
Eisai Network Companies

Global | Compliance Handbook

コンプライアンス・ハンドブック 第9版

Eisai Network Companies Compliance Handbook

経営層からのメッセージ

Japanese Version

October 2023

CEOからのメッセージ

企業におけるコンプライアンス事案はホワイトカラークライムとも言われており、個人、企業双方に不幸な結末をもたらします。犯罪の意図がある事案、例えば公金横領などにおいて、社は社員に損害賠償の請求をしたり、刑事訴追をしなければならないケースもあります。全ての事案で当該人物は社を去ることになります。今一つの事例、これは会社のためだとして行われる事案があります。その一つでもある価格談合や生産調整などのカルテル事案などでは一時の収益はみせかけでアップするかもしれませんが、その数百倍にも及ぶ課徴金が課せられ、社員の一部や役員においても実刑が科せられることとなり、全ての係争が終結するのに10年近くを要するものとなります。全く割に合うものとはなりません。

それに加えハラスメントといった労働法事案なども被害にあわれた人々の痛みは甚大であり、大きく社の統制を揺るがすことになります。

Dataや品質、情報についてのごまかしや虚偽報告は重大なリスクを社にもたらします。これらは社の根幹を揺るがすこととなり、信用の失墜、社業の非継続などの結末をむかえることもあります。社が傾いたり、不本意なる企業統合に巻き込まれる端緒ともなります。

誰にもバレないからやる、自分の周りがやっているからOKだ、自分に裁量権があるからその範囲で多少のことは大丈夫だといった意識は全てその当事者や組織が腐敗していることを意味します。いかなる意味でも情状酌量の余地はありません。

エーザイにとって最も大切な患者様をはじめとするステークホルダーズとの信頼はコンプライアンスが守られていることが絶対条件・前提であることを、この際皆様としっかりと共有するものです。

2021年3月
代表執行役CEO
内藤 晴夫

コンプライアンス委員会 委員長からのメッセージ

世界中で生活様式やビジネスの様式が劇的に変化しています。特に、日々の生活においてもビジネスにおいても人と人とが顔を合わせる機会が大きく減っており、コミュニケーションを難しくさせています。今、私たちは従来の方法にとらわれることなく変化に対応しなければならない状況にあります。

このようにビジネスのあり方が変わっていったとしても、コンプライアンスについては変わることがありません。私はエーザイにコンプライアンス委員会が設置された当初から20年以上にわたり、エーザイでのコンプライアンス推進に対し助言を続けており、現在エーザイには素晴らしいコンプライアンス・プログラムとコンプライアンス推進体制が整っていると言えます。しかしながら、コンプライアンスに対する意識が欠ける社員や、コンプライアンスを遵守しない社員がいれば、これは無意味なものになってしまいます。

エーザイのコンプライアンス・ハンドブックはグローバルで共通です。このハンドブックには国や地域にかかわらず、一人ひとりが守らなければならない大切なことが集められています。そして、このハンドブックに示された内容は、エーザイにおける20年以上にわたるコンプライアンスの歴史が重ねられたものであり、その本質は改訂を経ても変わることがありません。

2021年3月
コンプライアンス委員会 委員長
スチュアート ミケルジョン

チーフ コンプライアンス オフィサーからの メッセージ

現在のコンプライアンス推進部の前身である企業倫理推進部は、1999年に発足しました。

当時はまだ「コンプライアンス」は、日本では一般的な言葉ではありませんでした。

社員を対象としたコンプライアンス・トレーニングも、「遵法研修」と呼ばれていました。

以来、hhc＆コンプライアンスという理念を標榜し、約25年が経過した現在では、単に法令を遵守するだけでなく、社会からの期待に応えること、それが、エーザイの目指す新しいコンプライアンスの基準となっています。

hhc理念を実現させ、当社の製品やサービスを通じて患者様や生活者の皆様に貢献するためには、その前提として、社会の信頼を得ることが不可欠ですが、時間をかけて築いた信頼も、不祥事等が起きれば、一瞬で崩壊します。社会や一般消費者の方々が思い浮かべるコンプライアンスとは何かを、社員一人ひとりが自ら考え、社会の期待に応えることを、日々の活動の根幹に据えて、エーザイの目指す「社会善」の追求に努めたいと思います。

この「コンプライアンスハンドブック」は、その指針・道標となるものです。ぜひ皆さんの日常の業務に役立ててください。

エーザイは、単に法令を守るということにとどまらず、より高い意識のもとで、すべての社員が日々の業務に誇りをもって取り組めるような会社であり続けたいと思います。

2025年4月改訂
チーフコンプライアンスオフィサー
加藤 晋